

# アスモ・たんぽぽ新聞

アスモ新聞はアスモのホームページ <http://www.asumo-kaigo.jp/> からもお覧になれます。  
上記のアドレスか【在宅介護センター・アスモ】で検索してください。

「人に喜ばれる仕事を！！」のアスモは、みなさまとの新たな出会いをお待ちしております。

発行所：在宅介護センター・アスモ

たんぽぽ介護

平成21年3月

第42号



〒165-0026  
中野区新井1-26-4 オスカーマンション2F

☎03-5318-4007



代表取締役 花堂浩一

世界でいちばん美しい姿

市場の片隅の小さな店で肉まんや餃子売っている女性がいました。美術学校に通う娘の為に、朝から晩まで働きつめます。ある日の午後、朝からたちこめていた雲から大粒の雨が落ち始めました。「こりや、全然やみそうにない。そろそろあの子の授業が終わる時間なのに。今日は「ニ」までにして傘を持つていってあげよう」

：母親は急いで店じまいをしようと、その足で美術学校の前までまっすぐかけていったのです。ところが建物の前で、はっと自分の服装を見ると、履き古したつっかけに小麦粉で汚れたエプロン姿。娘は多感な年頃です。娘の心を傷つけないように、母親は建物の影で授業が終わるのを待つことになりました。しばらくたつて、娘の教室を見上げると、ちよと窓から顔をのぞかしていた娘と視線が合いました。母親は笑顔で手を振ったのですが、娘は見て見ぬ振りをするかのように、ときおり窓から顔をのぞかせるばかりです。みっともない母親に來ないで欲しいと思っているかのように、母親は肩を落とし、ひとり帰りました。

一カ月後、「お母さん、来週、学校で展覧会があるの。私の絵も展示されるのよ。これ招待状よ」しかし自分のような母親が行ったら、娘が恥ずかしい思いをするだろうと思うと、招待状を手にしなげらも、行くこと答えることが出来ませんでした。



展覧会当日、母親はやはり行くのを止めようと思いましたが、市場でいつものように働いていました。でも、本当は行きたくありません。そんな気持ちが出ていたのか、市場の仲間が「娘の展覧会だろ。店番をしていてあげるから、行つていってよ」。もう辺りは暗くなり始めていました。

急いで学校に行くと、展覧会場は、もう人影もまばらになっていました。壁いっぱいにかかれた絵をひとつひとつ目で追っていくうち、ひとつの絵が母親の目に飛び込んできて、彼女の目にはみるみるうちに涙があふれたのです。

## 『世界でいちばん美しい姿』

その絵の題名でした。雨、傘、小麦粉だらけのエプロン、そして古びたつっかけ。仕事着のまま娘を待つ母親の姿です。あの日、娘は窓から見える母親の姿を心に収め、キャンバスに描いたのです。いつのまにか娘が来て母親のそばで明るく微笑んでいました。母親はふたり、ずっとその絵を眺めていました。世界でいちばん幸せな姿で……。

私の幼少の頃をふと、思い出しました。

私はものごころ付く頃より母が働いており、家で一人ぼっちで留守番をしているのが私の日課でした。私は時折、寂しくて我慢できなくなり遠い道のりを延々と歩き母の勤め先まで母に逢いにいってしまいました。幼心で勤め先については勤め先の人や母に迷惑をかけるのでは……という気持ちはありました。ですが嫌な顔一つ見せずに周りの人や母は笑顔で私を抱きしめてくれたのを覚えております。今思うと、寂しがる私より、寂しがる私を置いて働いていた母のほうが遥かに切なかつたのだと感じます。

親の恩は山よりも高く、海よりも深い

と言いますが、親が子供を想う気持ちも、子供が親を想う気持ちも、どちらも深いものだと思っています。たとえ今、親に対して、子に対して、愛情が形に表れていないようにみえたとしても、必ずお互いに心のどこかに残っているのではないのでしょうか。



## スタッフ異動のお知らせ

アスモ	サービス提供責任者	高井智世	・・・	3月末退職
アスモ	サービス提供責任者	盛田晴也	・・・	4月よりアスモ→たんぽぽへ異動
たんぽぽ	サービス提供責任者	鶴山千砂子	・・・	3月末退職
アスモ	サービス提供責任者	千田敦子	・・・	2月から入社
アスモ	サービス提供責任者	渡辺真佐子	・・・	3月から入社



退職される方、おつかれさまでした。ありがとうございました。  
入社された方、よろしくお願います。



## カラーセラピーって何？

先月号のアスモ・たんぼぼ新聞でご紹介した絵本、「じっとみて」の作者であるしだえつこ様にカラーセラピーのお話をうかがいました。

「人は情報の80%を視覚から取り入れているといわれています。」

実際に病院や学校などでもカラーセラピーを効果的に利用しているところもあります。

簡単なカラーセラピーは、生活に季節の色を取り入れるといいでしょう。

その季節の色は、心を元気にします。

春といえば、桜。

桜の花の色、ピンクは気持ちをやわらげ、女性ホルモンを活性化させる色です。」とのこと。

服に取り入れたり、小物に取り入れたり、部屋の一部に取り入れたりして、色のセラピー効果を楽しんでみてはいかがでしょうか。



### ☆その1 簡単料理

- ①じゃがいもをレンジでチンしてつぶし、
  - ②つぶしたハンパンをまかせて塩コショウし
  - ③小判型にまどめ、フライパンで焼く。
- わさび醤油でいただく。

### ☆その2 絶品ドレッシング

オリーブオイル

酢(ゆず酢)

ゆずこしょう……適量

めんつゆ……適量

砂糖(一つまみ)……お好みで調節

大根と水菜のサラダによくあいます。

とっふサラダのときはオリーブオイル

をゴマ油に代えても美味しいです。



### ☆その3 簡単料理

- ①切り身の魚に塩こしょうをして
- ②フライパンにオリーブオイルをひいて両面がかりっとなるまで焼く。
- ③マヨネーズと味噌とゆずこしょうをまかせて片面にぬる。



2月某日の夕方、とうとう遭遇しました。

たぬき発見！

以前からうわさには聞いていましたが、野生のたぬきが出没するという噂のある道で発見。

「なんでたぬきがいるの？」

「絶対見間違いだよ～。」

「太ったネコじゃないの？」

「鏡じゃ？」 ……ん？

との声をよそに、堂々と道を歩いていました。携帯カメラを持って追いかけると、車の下に逃げ込み、そこからじっとこちらを見えています。近づくと逃げてこちらを振り返り、また逃げては振り返り…民家の庭の奥に入り込むまでカメラ目線でサービスしてくれました。が、この寒空の下、中野区上高田の住宅街でどうやって生きているのかしら…と心配になりました。

